

資料1

申込状況を踏まえた運営サイクルについて

1. 概要

- 既にご案内のとおり、運営開始初年度は申込み代理店数の予想が困難なため、運営サイクル（評価の有効期間）及び申込み代理店数が調査対応可能代理店数を超過した場合の対応については、実際の申込状況を踏まえて、5月の代理店業務品質検討WG（本日開催）に付議の上、生命保険協会内で機関決定し、6月に公表することを予定しております。また、申込み代理店数が調査対応可能代理店数を超過した場合には、業務品質の状況とお客さまとの接点の多寡（募集人数）から調査を行う代理店を選定する点もお伝えの通りです。
- 今般、2022年度の業務品質評価調査の申込み代理店数が確定しましたので、運営サイクルおよび代理店数が調査対応可能代理店数を超過した場合の対応について、お示いたします。

2. 申込み代理店数

- 2022年度の業務品質調査に申し込まれた代理店数は54代理店でした。

3. 運営サイクルについて

- 運営サイクルを長期にすることにより、調査対象の代理店を増やすことができるため、申込み代理店数が調査可能代理店数（2022年度は100代理店）を超過した場合は可能な限り運営サイクルを長期とすることを検討しておりましたが、申込み代理店数は想定内であったこと及び調査頻度の実効性を考慮した結果、評価の運営サイクル（評価の有効期間）は3年とします（＝定期調査を3年に1度実施）。
- なお、3年に1度の定期調査に加え、確認を行うべき事項に限定した毎年の更新調査を実施し、更新調査にて当該代理店の業務品質が公表の継続に値しないと判定した場合には、公表及び代理店による所定の文言の使用を終了します。
- 評価付けを獲得した翌年と翌々年に実施する更新調査の内容については、今年度下期以降の実際の調査結果を踏まえ、今年度中に改めて検討WGで議論し審査会にて決定いたします。

4. 調査を行う代理店について

- 申込代理店数は、調査対応可能代理店数の範囲内であったため、申込みいただいたすべての代理店を2022年度業務品質調査の対象とします。
- なお、2022年3月開催の第23回SGにて、申込み代理店数が調査対応可能代理店数を超過した場合の対応として、申込みいただいた代理店を「全ての基本項目が達成できていることを自己チェックにて確認できた代理

第1回 代理店業務品質検討ワーキング・グループ

店（調査を受けることができなかった代理店含む）」として、公表すること（2022年6月を予定）を検討する旨お伝えしていましたが、申込代理店数が調査対応可能代理店数の範囲内であったため、公表については行わず、次年度以降の運営については引き続き検討します。

以 上